

東京都流域 清瀬水再生センター汚泥処理施設脱炭素化推進事業 事業計画書

1 事業の位置

清瀬水再生センター（東京都清瀬市下宿三丁目 1375 番地）

2 事業の目的

東京都下水道局は、都庁の事務事業活動の約 35%に相当する年間 78.8 万 t-CO₂ の温室効果ガスを排出している。(2018 年度実績)

清瀬水再生センターの汚泥処理施設等の改築に当たっては、省エネルギー型焼却炉などを導入することで、温室効果ガス排出量の削減を図ることとする。

3 事業の内容及び年度計画

(1) 事業内容

汚泥処理施設等の改築

- ・ 汚泥焼却炉 処理能力 100t/日
- ・ 汚泥脱水機 処理能力 15 m³/h×3 台
- ・ 汚泥濃縮機 処理能力 80 m³/h×2 台

(2) 年度計画

平成 29 年度：事業契約

平成 29 年度～令和 5 年度：設計・建設期間

令和 5 年度：完成・稼働

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6～R31
汚泥処理施設等	事業契約			設計・建設				維持管理・運営

4 補助金の算定根拠

総事業費 約18億円

単位：百万円

年度	R4	R5	R6	R7	R8	計	備考
総事業費（税込）	1,307	445	0	0	0	1,752	
汚泥処理施設等	1,307	445	0	0	0	1,752	

5 事業効果

温室効果ガス（GHG）排出量の削減量及びその算出方法

GHG 削減量（総量）：約3,900t-CO₂/年

（内訳）

- ・N₂O削減によるGHG排出量削減量：約2,300 t-CO₂/年
- ・消費電力量削減によるGHG排出量削減量：約900 t-CO₂/年
- ・燃料使用量削減によるGHG排出量削減量：約700 t-CO₂/年

位置図

